

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

解熱鎮痛薬

頭痛・生理痛・熱

ノーシンピュア

イブプロフェン配合

非ピリン系・非アスピリン製剤

ノーシンピュアは、痛みや熱のもとになる物質（プロスタグランジン）ができるのをすばやく抑え、すぐれた鎮痛解熱効果を発揮するイブプロフェンに、その効力を高めるアリルイソプロピルアセチル尿素と無水カフェインを配合した鎮痛解熱剤です。

特長

- 吸収がよく、頭痛・生理痛・熱に速く効きます。
- イブプロフェンが痛みのもとに作用し、つらい痛みによく効きます。
- アリルイソプロピルアセチル尿素、無水カフェインは、イブプロフェンの鎮痛効果を高めます。
- 小粒でのみやすいフィルムコーティング錠です。



使用上の注意



（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。）

してはいけません

1. 次の人は服用しないでください
(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
（眠気があることがあります。）
4. 服用時は飲酒しないでください
5. 長期連用しないでください



相談してください

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 授乳中の人。
(4) 高齢者。
(5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(7) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
(8) 次の病気にかかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、
歯科医師又は薬剤師に相談してください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

相談してください

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。 (このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症状がよくならない場合
3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください
便秘、下痢

(裏面につづく)

成分と作用

成 分	2錠(1回量)中	作 用
イブプロフェン	150mg	痛み・熱のもとに作用し、すぐれた鎮痛解熱効果をあらわします。
アリルイソプロピルアセチル尿素	60mg	鎮痛成分の働きを助け、生理痛・頭痛をやわらげます。
無水カフェイン	80mg	鎮痛成分の働きを助け、頭痛をやわらげます。

添加物として無水ケイ酸、部分アルファー化デンプン、乳糖、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mg、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、酸化チタン、カルナウバロウを含有する。

効 能

- 頭痛・生理痛・腰痛・歯痛・咽喉痛・関節痛・筋肉痛・神経痛・肩こり痛・抜歯後の疼痛・打撲痛・耳痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の用量をなるべく空腹時をさけて服用してください。

服用間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	1 回 量	1日服用回数
大人(15才以上)	2 錠	3回を限度とする
15才未満の小児	服用しないこと	

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 錠剤の取り出し方
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。
(誤ってそのままのみ込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



(PTPシートの取り出し図)



保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限をすぎた製品は服用しないでください。
- (5) 車の中など、高温になる所に置かないでください。

お問い合わせ先

本剤について、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

株式会社「アラクス」 医薬情報室 TEL 052 (951) 2055
名古屋市中区丸の内三丁目2-26 〒460-0002

受付：月～金曜(祝日を除く) 9:00～16:30

製品情報をホームページでご覧下さい。 www.arax.co.jp

ARAX 株式会社 アラクス

名古屋市中区丸の内三丁目2-26 〒460-0002